

はとやま



紙面改革、はじめます

- 特集①ぎがいレポート 北部地域活性化事業 … 2
- 特集②変わるか！鳩山町議会 研修報告 …… 4

12月定例会報告

- 台風19号 災害復旧へ …………… 6
- 私たちは賛成・反対しました …………… 7
- 町政を問う！一般質問11議員が質問 …………… 8
- 常任委員会レポート …………… 14

No. 147
2020.2.1発行



特集①

ぎかいレポート

そこが知りたい

北部地域活性化事業

議会だより紙面改革として、皆さまに読んでいただける広報誌を目指し、町の事業を紹介したり、町の抱えている課題を掘り下げるなど、特集記事を随時掲載してまいります。
今回は、「北部地域活性化事業」について、具体的にどのような事業に取り組んでいるのか、計画予算と進捗状況をご紹介します。

泉井地区の事業

泉井交流・体験工リア

農業の振興を図るため、「交流」と「体験」の場となる活性化拠点施設を、亀井分館用地及び周辺用地を集積し、整備する事業です。

遠足や体験学習を誘致し、施設内に亀井小の学童保育所の整備を行います。

計画予算

8億1500万円

・来年度完成予定

見込み総額

8億5300万円

※見込み総額は現時点で見込みです。



泉井交流・体験工リアの整備イメージ図

泉井集落センター改築

地域住民の多世代交流、伝統文化継承等の機能を併せ持つ施設として整備します。

太陽光発電設備を設置し、売電収入を地域の財源とする予定です。

建築許可の遅れにより、今年度の竣工は厳しい見込みです。

計画予算

1億6200万円

・施設建設中

見込み総額

2億4300万円



完成予想図

町道第1号線整備事業

道路の延伸・拡幅・直線化及び歩道を設置することにより、通学児童・生徒等の安全を確保します。

隣接するときがわ町との積極的な協議・調整等を行い、町を東西に貫く広域幹線道路として域内外の交通網の強化を図ります。

計画予算

4億7000万円

・第一工区完了

見込み総額

6億1000万円



歩道が整備された町道第1号線(第一工区)

その他の活性化事業

泉井地区で取り組むその他の事業として、

①広域幹線道路整備
②地区内既存道路整備事業(地域生活道路)

③町道56号線外整備事業

④町道1323号線整備事業

等の計画があります。



計画予算より超過している状況

実施しているほぼすべての事業が計画予算を超過しています。

現時点で13億円以上の予算超過が見込まれており、国からの交付金も見込みが外れ、多くは起債という形で事業を進めざるを得ない状況が続いています。

町営路線バス事業

北部地域在住の通勤、通学者等の公共交通の利便性を確保し、暮らしやすく住み続けられる住環境を整備するものです。泉井・上熊井の両地区で計画をしています。今年から越生駅まで延伸して運行しています。

年間経費 約5000万円



上熊井地区の事業

農産物直売施設整備

換金性の高い農産物の計画的生産と、活性化拠点施設を整備する事業です。

運営検討委員会では、指定管理者による運営を検討しています。

今年度、造成工事や施設本体の建築を進め、来年度に外構工事や厨房機器の整備を行い、完成の予定です。

将来に向けては、町農業公社の設立と、農産物の生産を担う農業法人等の設立を目指します。あんずの6次産業化に向けての取組みも期待されます。

計画予算 4億円
施設建設中 見込み総額 5億3400万円



地域の拠点として期待される農産物直売施設（整備イメージ図）

上熊井集落センター

地域住民が気軽に使いやすく、多世代交流・地域福祉運営等の機能を有する施設として整備します。近くに整備を進めている、上記の農産物直売施設との連携も図ります。

計画予算 1億6200万円
施設建設中 見込み総額 1億7900万円



完成予想図

町道第52号線外整備

地域の幹線道路として道路の拡幅・直線化及び歩道を整備することで、通学児童・生徒及び地域住民の安全を確保します。延長約3kmになる道路を整備する大規模事業のため、第2期計画で整備を予定しています。

計画予算 8億円
第二工区（上熊井地区）用地測量実施 第二期計画で整備予定



整備予定の町道第52号線

その他の活性化事業

上熊井地区で取り組むその他の事業として

- ① 辻川ほか周辺整備事業
- ② 地区内生活道路整備事業
- ③ 町道第495号線整備事業

等の計画があります。



はとやま町議会の考察（まとめ）

北部地域活性化事業は、現在工事が進められている、（仮称）鳩山新ごみ焼却施設整備に関連して計画が進められています。

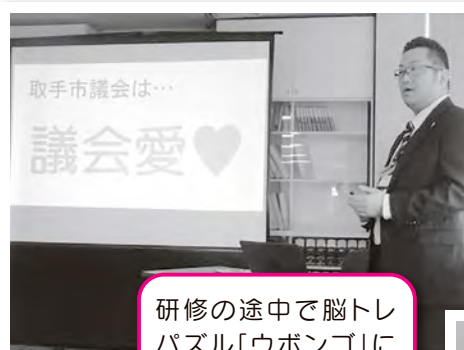
地域の活性化への取り組みを進めていただくとともに、財源を確保し、町民の将来負担を考慮した事業計画の見直しも視野に入りたいと考えます。

取手市議会に学ぶ

「議会改革について」研修

昨年11月6日、議会改革について取手市に視察研修に行ってきました。議員としては初めてワークショップスタイルの研修。3チームに分かれ、さて、どんなことになるか……

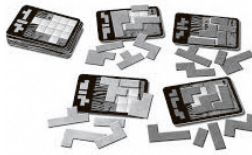
岩崎さんの熱い講義を聞いたあと、自分たちの課題に取り組みました。



取手市議会事務局の岩崎さん(通称ブーちゃん)のファシリテートで研修開始。次の順序で進みました。

- ①取手市議会の取り組み説明
- ②議員になった初心に戻って
- ③住民の意見は宝の山
- ④鳩山町議会の良い点悪い点

研修の途中で脳トレパズル「ウボンゴ」に挑戦!



ウボンゴ:ピースを組み合わせて図形問題の形を作る



どうして議員になったのか? 漢字一文字で表現すると…難しいね!初心を思い起こし、うーん、いろんな思いがあるね。



I. 議員になった初心に戻って

なぜ議員を目指したのか?
議員選挙に挑んだ理由は?
それを漢字一字で表すと…



漢字一文字と自分の初心を説明

代 当時、地域での環境問題があり、その代弁者が必要と考えた。
石井 計次

義 「自分がやらねば」という義憤から決意。正義感と自分の「義」を信条に。
大賀 広史

空 初めに上马した時、党議員がいなかったので、空白を克服することだった。
根岸 富一郎

暮 圧倒的に男社会な議会。日々の暮らしの中から問題を発言したかった。
野田 小百合

願 住み良いまちづくりと公平な行政が行えるように、思いを込めての一字。
小川 唯一

疑 町の予算、執行状況、子育て、福祉等、様々な疑問をクリアにする為に議員になった。
松浪 健一郎



想 当選したら、地域や町民のために役立とうという想いと、ちよつとだけ自分のためにも。
森利夫

知 地元農業や鳩山町のことをもっと知りたいと思った。初心は忘れない。
小鷹 房義

仁 自らに克ち、人に対する思いやりや労わりの心を持って、少しでも人の役に立ちたいと思った。
日坂 和久

役 「町民一人ひとりの役に立ちたい」と思った。
中山 明美

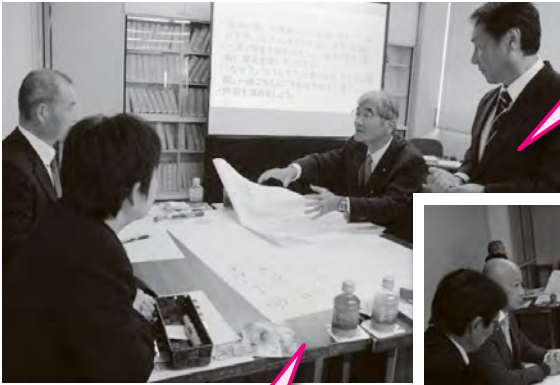
戦 新人として選挙への挑戦であり、未知の議会に飛び込む覚悟を表現。
石井 徹

活 町・住民・職員・自然・そして私自身を町のために「活」かしたいと思った。
関根 清隆



特集②

変われるか！ 鳩山町議会



学生の頃を思い出すな～！
ディベート形式の研修は、
楽しい。

そんな風に考えていたの。
意見交換できて良かった。
もっともっと議論しよう。



この研修の成果を
活かしたいね！

住民と対話するため、報告会で
はなくワールドカフェ方式が有
効だ。

- ・議案の分析が不十分。執行部に対して、もっと強く追及すべきでは。
- ・政策立案能力を高める必要がある。
- ・住民とのコミュニケーションが必要だ。



Ⅱ.鳩山町議会の良いところ・悪いところ、 課題と解決策を考える

〈良いところ〉

- 人の意見を平等に聞く
- 一般質問を積極的に行っている
- 町執行部に対しては是非々々で臨んでいる
- 議会事務局が献身的に務めてくれる
- 傍聴規則を見直し、傍聴しやすくなった
- 議会改革に情熱を持っている
- 「議会だより」の内容が向上した

〈課題〉

- 議員間の意見交換・議論が少ない
- 未だ町民との距離感を感じる
- ペーパーレス議会の検討が進んでいない
- 執行部とのなれ合いが一部ある
- 情報発信が少ない
- 政策立案能力が十分でない
- チェック機能が弱く、追認しがち

町民の声を聞き、町と町民のために…
議会の役割を果たすには…

〈課題に対する解決策は〉

1. 町民との意見交換を
 - ・議員から町民へ報告だけではなく意見交換、ワールドカフェなどで意見を聞く
 - ・若者、女性との意見交換の機会を増やす
2. 議員力(政策立案能力)アップに取り組む
 - ・勉強会を実施し、議論し、議会に活かす
 - ・他自治体の先進事例など調査・研究を、より一層強める
 - ・納得するまで議案等を調査・分析して議会に臨む
 - ・確固とした信念に基づき、勇気を持って発言する
3. 議員間の議論を
 - ・テーマを決めて議論する(町の課題、災害対策、地域間のギャップなど)
4. その他
 - ・傍聴席の改善、バリアフリー化を検討する
 - ・ペーパーレス化を検討する

台風19号 災害復旧へ



町道第52号線の土砂崩れ(高野倉地内)

令和元年第4回定例会が、12月3日から11日までの9日間にわたって開催されました。提出議案は、専決処分に関するもの1件、条例の制定に関するもの6件、指定管理者の指定に関するもの2件、令和元年度一般会計及び特別会計、並びに企業会計補正予算の議定に関するもの5件、工事請負契約の変更契約の締結に関するもの1件、人事に関するもの1件の16議案で、いずれも承認・可決・同意されました。請願1件が提出され、採択されました。そのほかに議員発議が1件提出され、可決されました。

一般会計補正予算第3号 (7399万円追加)

台風19号により被害が発生したことなどから、災害復旧に要する経費について緊急に予算措置を行う必要があったため。

問 町道52号線土砂崩落による災害復旧費6000万円という事だが、復旧の状況は。

答 道路に流出した土砂等の撤去、道路の片側通行を確保する応急復旧工事は完了した。国の審査を受け、国庫負担金等が決定する。その後、災害復旧工事を実施する。

問 石坂の森地内の土砂崩落の状況と工事内容は。

答 一部土砂の崩落があり、道路をふさぎ、ガードレールも破損が生じた。

工事は、10月25日に契約を締結した。土砂の撤去等は完了し、ガードレール等の取りかえは、12月20日までは完了する予定。

鳩山町一般職員の給与に関する条例の一部改正

人事院勧告などの状況を鑑み、初任給を1500円～2000円引き上げ、30代半ばまでの職員に対して給料月額引き上げを行う。また、年間の勤勉手当を0・05月引き上げ、4・50月にする。

町長等の給与等に関する条例の一部改正

年間の期末手当を0・05月引き上げ、4・50月にする。

議員発議

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

年間の期末手当を0・05月引き上げ、4・50月にする。

〈反対討論〉

- 1、人事院勧告に従う必要はない。
- 2、所得が少なくなっている状況なのに議員報酬を引き上げる理由はない。
- 3、議会改革の中で議員報酬を議論して決めるべき。(根岸)

議員報酬に関しては、人事院勧告の趣旨を尊重することはない。(野田)

一般会計補正予算第4号 (7321万円の追加)

問 生活安全対策費277万円追加の理由は。

答 防犯灯に係る電気料金など、電気料金の上昇が見込まれる。

問 動物の死体処理委託料、増額の経緯は。

答 ロードキルの件数が増加傾向のため。

問 ふるさと納税750万円とら割増額した。何か特別な返礼品があったのか。

答 登録サイト数を増やすなど、工夫をした。

〈請願審査〉

鳩山町太陽光発電施設の設置に関する要綱を見直し住民が安心して暮らせる環境を求める請願

388人の請願者から提出され、採択された。

町は処理の経過及び結果を令和2年3月31日までに、議会に報告する。

〈要旨〉

- 1、設置計画を広く周知し、希望者は説明会に参加できるようにする。
- 2、設置者は遵守事項に関する状況を文書で明確にし、必要に応じて住民との覚書や協定書を作成する。

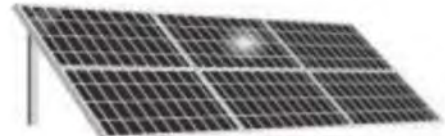
〈理由〉

現在の要綱では、計画地に隣接する住民以外は知ることができない。遵守事項が確実に守られているのか、確認できるものがない。

これからも安心して暮らし続ける環境を維持するために、現在の要綱をもう一步、踏み込んだものにする必要がある。

〈反対討論〉

要綱は、設置に相当でない区域を定め、関係諸法令等で計画中止も検討させる内容である。
 現行の要綱を遵守する計画であれば、地権者や隣接する住民の意思を尊重すべき。
 更なる対応を求めるのなら独自の条例の制定が望ましい。(石井 徹)



公平委員会委員に

猪原 恵子 氏

公平委員会委員の任期満了に伴い、猪原恵子氏(松ヶ丘在住)の再任に同意しました。



おめでとう
 ございます

11月13日、全国町村会議議長会の記念式典で、根岸富一郎議員が創立70周年記念永年功労者表彰を受賞されました。



一部事務組合議会報告

西入間広域
 消防組合議会

10月9日に、組合議会の行政視察研修を実施しました。調布市の日本消防検定協会では、避難はしごや消化器等の消防機器の検定業務について研修を受けました。
 次に、東京消防庁第八方面本部の消防救助機動部隊を訪問しました。
 専門的な救助能力部隊の訓練を見学し、大規模災害発生時の対応を学び、研修を終えました。

毛呂山・越生・鳩山
 公共下水道組合議会

10月29日、毛呂山処理場と川島町にある(株)G&U技術研究センターを視察。このセンターでは、研究所内の視察及び、マンホールの蓋の歴史が分かる見本や、金属の引っ張り力実験、下水の逆流、洪水によるマンホール蓋より噴き出す原理が分かるシステム、マンホール蓋の飛ばない仕組みが分かる実験など、興味深い研修となりました。



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

| 令和元年第4回定例会 議案 | | 議員氏名 | | | | | | | | | | | 審議 結果 | |
|------------------|--|--|---------|----------|----------|----------|---------|-----------|----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|
| | | 関根 清隆 | 石井 徹 | 中山 明美 | 日坂 和久 | 小鷹 房義 | 森 利夫 | 松浪健 一郎 | 小川 唯一 | 野田小 百合 | 根岸富 一郎 | 大賀 広史 | | 石井 計次 |
| 町 長 提 出 | 専決処分の承認を求めることについて 一般会計補正予算第3号 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 承認 |
| | 一般職員の給与に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 町長等の給与等に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 災害甲慰金の支給等に関する一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 梅沢集会所条例及び鳩山町コミュニティセンター条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 国民健康保険税条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 鳩山町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 今宿コミュニティセンターの指定管理者の指定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 鳩山町営ニュータウン駐車場の指定管理者の指定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 令和元年度一般会計補正予算第4号の議定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 令和元年度国民健康保険特別会計補正予算第3号の議定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 令和元年度毛呂山、越生都市計画事業今宿東都市計画整理事業特別会計補正予算第1号の議定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 令和元年度介護保険特別会計補正第3号の議定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 令和元年度水道事業会計補正予算第3号の議定 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 工事請負契約の変更契約の締結 上熊井農産物直売施設建築工事 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |
| | 公平委員会委員の選任 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 同意 |
| | 請願 | 鳩山町太陽光発電施設の設置に関する要綱を見直し住民が安心して暮らせる環境を求める請願 | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 |
| 議員提出 | 議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 議 | 原案可決 |

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

町政を問う!

一般質問 11議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

関根清隆 議員

1. 町の災害時対策について
2. 生活サポート
3. 川越都市圏まちづくり協議会

石井 徹 議員

1. 災害時の情報発信について
2. 泉井集落センター建設計画の変更について
3. 改めてふるさと納税への取り組みについて

大賀広史 議員

1. 子育て支援（児童虐待防止）
2. 町の財政と主要事業（来年度予算と中期財政見直し）
3. 災害対策（台風19号）

小川唯一 議員

1. 災害対策
2. SDGs(持続可能な開発目標)の取り組みについて
3. 薬用作物について
4. 亀井小の学童施設

松浪健一郎 議員

1. 幼児教育、保育の無償化により、役割を終えた感のある、鳩山幼稚園の今後について伺う
2. いつまで経っても変わらない、廃墟感漂うニュータウン内のJAXA住宅跡について伺う

森 利夫 議員

1. 北部地域活性化事業について
2. 給食センターについて

日坂和久 議員

1. 水道事業について（9月定例会の関連）
2. ニュータウン内街路の管理について
3. デマンドタクシー利用者からの要望と対応について
4. 美しい農村と魅力ある里山づくりについて

中山明美 議員

1. 災害に備えて対策を
2. 「提案募集方式」の活用を
3. 新生児聴覚スクリーニング検査を

野田小百合 議員

1. 太陽光発電施設について
2. 香害について
3. 学校給食について
4. 自然と住民の思いを活かしたまちづくりについて

小鷹房義 議員

1. 小、中学校の食育の取り組みについて
2. 児童、生徒の長期欠席による学習支援について
3. 亀井グラウンドの駐車場トイレについて

根岸富一郎 議員

1. 水道料金について
2. 災害対策について
3. 耳の聴こえについて

災害対策

情報伝達、高齢者の避難は

自主防災とハザードマップの確認を



関根 清隆 議員

問 町の災害対策
災害時情報伝達、問合せ、停電時伝達手段は、災害時対応の情報については、全戸配布のハザードマップに多く記載。庁舎内電話回線分通話が可能。防災行政無線放送（非常電源設備あり）、ホームページ、車両、消防車両などで周知を図っている。

問 車で避難所へ行って良いか、また持ち物はいかがか、鳩小も始めから避難所にしてほしい。

答 駐車場には限りがあり、歩ける方は徒歩で避難所まで来てほしい。町は食料・飲料水・毛布等寝具を準備。一時的な避難に必要な物資のみとなる。鳩小の避難所は、総合的に判断し、開設するか否か判断する。

問 高齢者・障がい者の避難は、また町内会の役割は。

答 避難行動要支援者名簿の作成に努めているが、対象者の十分な理解と協力が得られていない。現在、町で準備中の自主防

災活動について、町内会に今後検討を依頼する。その結果を共有し、防災体制を充実していきたい。

問 町だけで対応ができない時や、ブルーシートによる応急処置は。

答 県・消防・警察・自衛隊等に依頼。ブルーシートは高所作業なので専門業者に依頼願いたい。

生活サポート

問 『はとまるマップ』の充実と全戸配布を提案。

答 更新対応が不定期で主に高齢者福祉情報。しかも56ページもあり、そのため全戸配布していない。

川越都市圏まちづくり協議会

問 加入の検討はいかがか。

答 協議会への打診を行っている。協議会側の意向確認には時間を要するので、それを待ちたい。



町民にとっても役立つ資料たち。必読です

石井 徹議員



災害情報の発信

今後の緊急災害情報の伝達方法は

地域コミュニティの活用に取り組む

問 災害時の情報発信について

答 この度の台風19号では、防災行政無線で情報は行き届いたか。

問 全世帯に均等に伝えることはできなかった。

答 全世帯に伝えるためにタブレット端末や防災ラジオの活用を考えると、費用が高額、活用方法に一長一短があり、導入はむずかしい。

問 今後の対策は。

答 防災メールの周知を徹底、また、災害が想定されるエリアの地域コミュニティの活用を研究課題として取り組む。

泉井集落センターの計画変更について

問 建設工事が進んでいないが、その要因は。

答 現段階で建築確認が取得できていない。

問 建築確認取得前の入札は通例であるのか。

答 通例ではないが、地元との約束を守る為、仕様書に基づき入札を実施。遅れに地元への対応は、要因、経緯を説明し



泉井集落センター工事予定地

お詫びをした上で、今後の計画を説明していく。

問 工事会社への対応は、改めて協議をして対応について検討する。

ふるさと納税について

問 議員研修で視察した茨城県境町は、ふるさと納税で、驚きの成果を上げているが、このことに町の見解を伺う。

答 町長はじめ、職員、関係者、団体と素晴らしい連携が取れており、見習う点はあると考える。

問 職員を派遣して勉強させてみては。

答 職員による視察等を検討したい。

大賀 広史議員



災害対策

避難所の出入りチェックは

入口チェックのみだった

児童虐待・ネグレクト

問 町内でも虐待が増加しているようだが、どのような案件があるか。

答 身体的・心理的虐待共に幅広く、25年度からは毎年、一時保護措置等も行っている状況だ。

問 回覧板や広報誌等で、情報提供等の呼びかけを。

答 町独自のポスター作製など、検討してみる。

町の財政（予算と事業）

問 毎年、町長の予算編成方針では、基金（貯金）依存からの脱却などと言っているが、現実を見ると起債（借金）依存からの脱却とすべきでないか。

答 基金依存とは経常経費を充てる事であり、起債依存は建設事業費を充てる事。どちらも目を配っていく必要がある。

問 整備予定の泉井交流体験エリアに、学童保育所を新設する予定だが、保護者会や支援員の意見を聞いているのか。

答 可能な限り対応する。

問 北部地域活性化事業は、ほぼすべての事業が



10月12日、越辺川の増水によって溢瀬寸前の今川橋付近

予算を超過している。執行部が自分の財布からお金を出す感覚があれば、ここまで借金を重ねることはなかった。超過分を反映した事業見直しは、民間では当たり前。町としても当然もつべき経営感覚だ。予算が足らず、借金した額はいくらか。

答 予算超過分と補助金交付の当てが外れて起債した総額は、現時点（5年間）で約13億円。

災害対策（台風19号）

問 重郎橋の架け替え工事は急いでいたいただきたい。越辺川の今川橋付近は増水により、堤防が崩れた。早急に対策を。

答 県に報告したところ、改修区間として計画しており、護岸工事の予定だ。

小川 唯一 議員



SDGs

SDGsで町の魅力アップを

総合計画に落とし込むことを検討

問 SDGs(持続可能な開発目標)をどの様に捉えているか。

答 産業革命以降、急速に活発化した人間活動により、経済、社会の基盤である地球の持続可能性が危ぶまれている事に端を発している。

2030年までの目標で貧困や飢餓問題、健康と教育、格差、不平等、安全な水の確保、エネルギー、働きがい、産業・経済成長、人・国の不平等、住み続けられる街づくり、作る責任、気候変動、海陸の豊かさ、平和と公正、世界のパートナーシップについて17の目標とし、地球上の誰一人として取り残さないと誓っている。

問 認知度が低いと思うが。

答 日本での認知度は相当低いと指摘されている。掲げられた目標は素晴らしいが、具体的に何をすれば良いかイメージが掴みづらいのではないか。

問 認知度を上げるにはどうすべきか。

答 具体的な指標があれば

ばもつと普及すると思われる。自分の事として考えるまでいかないのでと思う。

問 地方創生とSDGsをどう捉えているか。

答 国ではSDGsを地域活性化の原動力と位置付けている。町でもSDGsの目標の視点を取り入れる必要がある。

問 総合計画に落とし込み実行していくなら町の新たな発見、魅力アップにつながると思うが。

答 第6次総合計画の策定にあたり、その中で取り入れる方法を検討したい。



SDGsの17の目標

幼児教育

園児の数の分岐点は

8人

松浪健一郎 議員



問 幼児教育、保育の無償化により、役割を終えた感のある鳩山幼稚園の今後について、園児の数が減っていないか。

答 27年度41人、今年度35人と減少傾向にある。来年度は28人を予定している。

問 運営上、園児の数の分岐点は。

答 基準はないが、小学校の基準では、8人以下のクラスが2学年続くと複式学級になる。幼稚園も、8人が分岐点になるが、他市町では、5人で運営している所もある。5人を切るようなことになれば、園運営上や、集団生活に支障をきたす恐れがある。

問 廃園にすることで、町の財政負担が減るのではないか。

答 年間1400万円程度負担が減ることになる。

問 例えば、10人で幼稚園を運営すると、年間約2900万円かかる予算は見合わないと思うが。

答 人数が減れば1人あたりの単価は高くなる。

予算的にそれだけ支出するの、いいか、悪いかはその時点で検討する。

問 民間にすることのメリットと、デメリットは。

答 メリットは、預かり保育時間の延長等、保護者のニーズに合わせた柔軟な運営が可能なこと。デメリットは、町内に幼児期の教育施設が無くなること、町内での保護者のコミュニティが無くなること。

問 2年保育ではなく、3年保育も視野に入れて、いろいろな良さをアピールするべきだと思うが。

答 今後進めたい。



園児の減少が続く鳩山幼稚園

森 利夫 議員



建築確認

集落センター建設に伴う建築確認は

現在も建築確認等が取れていない

問 北部地域活性化事業に伴う、施設建設の進捗状況は。

答 泉井・上熊井集落センターの工事請負契約は9月定例会で議決されたが、建設に必要な各種申請がおり、現時点では施設建設に係る工事を進められない。

問 建築確認が取れていないという事実だが、上熊井集落センターの、農地転用と開発許可はいつ取得したのか。

答 農地転用は不要だが、開発許可と適合証明は現在申請中で、許可取得後に建築確認の申請をする。

問 工事請負契約の議決前に、建築確認等が未取得であった。これを議員に知らせなかった事に、強い疑念と違和感が募る。詳しい原因は。

答 設計事業者が町からの指示事項をおろそかにしていたからだ。

問 原因が、設計事業者の責任と言っているのであれば、その業者を指名停止処分にするべきと思うが。

答 予算措置等の関係で

町が発注しているが、事実上の発注者は泉井地区である。設計事務所に対する措置は、泉井地区の皆様の意向を優先する。

問 7月の臨時会でも、議決が必要な変更契約の締結前に、工事が終了していた。今回の建設工事過程等を鑑み、業務怠慢である。どの様に是正していくつもりか。

答 担当課は必要な指導を行ってきた。設計事業者の問題として考えている。今後は担当課が、事業担当者・上司・役員も含めて、文書による指導を考える。



令和2年1月、新築工事が中断したままの上熊井集落センター

魅力ある里山

町田山(赤沼)整備に町の支援が必要

個別具体的な支援の関与を考える

魅力ある里山

問 東京圏にありながら、里山の自然が残っている事は町の強みだが、財政難の折、整備に着手できず荒廃していることが現実だ。町の強みを活かして、町民が誇りを持てる里山環境づくりが必須だ。その思いから民間企業が奮起し、町田山付近の整備を始めた。この事を町はどう捉えているか。

答 里山景観の再生等が進められ、町の魅力を高めることが期待される。ありがたい取り組みだ。

問 散策路予定地に町道が入っている。傾斜地で歩きづらいが、階段状に整備できないか。

答 里山整備進展過程で個別具体的に協議したい。

問 町田山法面が町有地だ。土砂流出抑制策は。

答 散策路整備同様に進展過程で個別具体的に協議したい。

問 町田山整備により、おしやもじ山・町田山・菱沼く農村公園の「あるくロード」が設定できる。最適コースと思うが。

答 全町公園化構想のウォーキングコースとして提案を受け取る。

ニュータウン街路

問 西友から鳩小入口までの歩道凹凸解消は。

答 とちのき通り歩道整備完了後、財源確保する。

問 かえで通り街路樹の害虫(毛虫)対策は。

答 薬剤散布は賛否がある。巣網の段階で切枝し、処理する。

水道事業

問 鳩山・毛呂山・越生3町で広域化の協議は。

答 情報交換会で広域化の話は出ている。

問 前定例会で水道料金は15%アップが必要と伺った。経営は持続可能か。

答 実際には20%アップが必要。



里山整備が進む町田山付近。町は静観のみか

中山 明美 議員



災害対策

「マイタイムライン」が必要では

一人一人作成することが重要

問 要介護者の避難誘導の状況は。

答 高齢者や障がい者の相談等に対する個別対応や、町内の福祉施設に対する対応。全ての要介護者に対する避難誘導とはならないが、可能な限り、支援が実施できるよう努めていく。

問 自分の住んでいる地域の水害リスクを知り、また、水害から自分の身を守るための行動を想定することにより、水害時の備えと早めの避難行動につながる。「マイタイムライン」(自分自身の防災行動計画)が必要ではないか。

答 同じ地区内でも、状況は異なる。単身世帯、高齢者がいる世帯、乳幼児がいる世帯等様々な状況であることから、マイタイムラインは住民一人一人がみずから考え、検討することが重要となる。作成することで、各家庭内での防災意識の向上にもつながる。また、作成したマイタイムラインを各地区の自主防災組織で

集約することにより、被害想定をする上で重要な資料ともなり得る。防災啓発の一つの手段として活用方法を検討したい。

問 避難所運営で課題があったか。

答 ペットとの同行避難は、全国的にも懸案となっている。

今宿コミュニティセンターで、人が避難する場所と別室でペットを避難させる方法をとった。

今後は、開設する避難所ごとにペットの避難スペースを確保した上で臨みたい。



台風19号時の越辺川
今川橋付近

野田小百合 議員



太陽光発電施設

相談や手続きが増えるのでは

要綱に基づき指導する

問 今年度中の太陽光発電施設の相談件数、申請件数、説明会開催状況は。

答 相談件数53件、事前相談届出書12件、事業者説明会は8件実施。

問 相当数の「未稼働のみなし認定案件」の相談や手続きが想定されるが、町はどう考えるか。

答 要綱に基づき、各種手続きや関係条例の適用等を指導する。みなし認定箇所は114件。

香害について

問 洗剤・柔軟剤、芳香剤など香りづけされた商品は、化学物質が使われている。そのため化学物質過敏症を発症する人が増えている。香害をどのように考えるか。

答 香りによって、辛い思いをする人がいることを正しく理解し、認識する事が重要。

周知が必要では。

答 保健センターではボスタター、チラシによる啓発を行っている。ホームページや広報はとやまにも掲載し、周知に努める。

学校給食について

問 給食費無料化をどのように考えるか。

答 鳩山町の児童・生徒は平成30年度789人、給食費は3700万円。国県補助はなく、町が負担することになる。

問 国産小麦粉・米粉を使ったパンの利用をすすめ、米飯を増やさないか。

答 1週間の主食は米3回、パン・麺が各1回。学校給食会のパン工場では、輸入小麦粉7割、埼玉県産小麦粉3割のブレンド小麦粉を使用。学校給食会では今後、国産小麦粉の使用比率を上げていきたいとのことだった。



伐採工事が終わった石坂地内の太陽光発電施設設置場所

小鷹 房義 議員



食育教育

給食には鳩山産米を使用か

学校給食はすべて町内産米を使用

問 中小学校の食育授業
食育に関して授業の進め方は。

答 栄養教諭が中心となっており進めている。地場産品を多く活用して、肥満・偏食・食物アレルギーなどを持っている児童生徒に対する個別指導も行っている。事業日程によつては、栄養教諭と児童とで一緒に楽しみながら食べることに、直接的に子ども達の給食に対する理解を深めている。

児童生徒の長期欠席による学習支援

問 町での学習支援の取り組みをうかがう。

答 長期欠席は以下の種類に分けられる。不登校によるもの、病気によるもの、経済的理由等によるもの。人数が一番多い不登校による長期欠席の学習支援については、不登校児童・生徒の気持ちに寄り添うことが何よりも大切で、担任を中心に家庭訪問を行い、授業で使ったプリントや、テスト範囲表を渡すなどしている。また、中学校では、

亀井グラウンド駐車場
和式トイレ



高校進学に向けての進路指導を、不登校生徒であつても行っている。

亀井グラウンド駐車場トイレ

問 和式トイレを洋式トイレに改修してはどうか。

答 現在の汲み取り和式トイレから、洋式トイレに改修すれば、身体の不自由な方や高齢者の方は負担が軽減され、安心して利用できる。しかし、駐車場の和式トイレは道路を横断しなければならず、大変危険なため、グラウンド内のトイレを使用していただきたい。駐車場のトイレは撤去も考えている。

難聴問題

一人ひとりを把握できないのか

レベル把握のため測定器を整備した

根岸富一郎 議員



問 水道使用料金は、使っただけ支払うことが公平ではないか。

答 水道審議会が審議する。

問 高齢者世帯や子ども的人数で、料金を加減することはどうか。

答 それらも審議する。

問 台風時、町長が区長の家に行き、避難を呼びかけたことは、地域自治権の侵害ではないか。

答 災害対策法に「立ち退きや避難勧告ができる」とあり、適法だ。

問 水田の保水力を高める必要はないか。

答 基盤整備した水田など、保水力が発揮できるよう地元の農家などへ要請したい。

問 上熊井から高野倉にかけて、土砂崩れしやすい地質だ。町道改良で費用が増大するのではないか。

答 地元の意見を聞く機会を設ける。

問 越辺川の増水によつて今宿側がエグリとられだが、改良が急がれるのではないか。

社会性が大事



答 現状を原に報告・協力している。今年度から用地交渉に着手の予定だ。

問 難聴は、社会性をなくし認知症へつながるので、第一原因にすべきではないか。

答 重要な課題としたい。

問 難聴の人をどのように把握しているか。

答 障がい者は30人だが、そのほかレベルごとに人数を把握していない。今年度から把握したい。

問 早期に認定補聴器技能者の派遣が必要ではないか。

答 今後、検討したい。

視察研修報告

11月6、7日に2つの委員会合同で茨城県の龍ヶ崎市と境町を視察しました

総務産業委員会

NPO法人茨城県南生活者ネット視察

日常的に活動している人には賃金を払いたい

令和元年11月6日、所管事務の視察研修を実施しました。

調査事項

(1) NPO法人茨城県南生活者ネットの取り組み

茨城県龍ヶ崎市にあるNPO法人茨城県南生活者ネット（KCNN）の取り組みについて視察研修しました。

KCNNは、任意団体「住民ネットワーク21」として、茨城県南地域で生活者主権の政策提言型市民活動を進めてきた組織が発展したものです。

平成5年に発足、環境・福祉・まちづくりなどの問題について生活者の立場で実践し、市への提案などしてきました。会員制なので県からの補助金等はありません。

高齢化、グローバル化の進展の中で「地域を重視し、安全、安心と心の元氣」を支援しています。

コミュニケーションハウスを理事長が私費で購入するなど、自立型相互扶助で、会員同士が相互に助け合う組織です。このハウスを中心に「やりたがり屋」が集まってくると言います。

行政との関わりはほとんどありません。市には、廃校になった小学校を活用した「市民活動センター」や「市民交流プラザ」があり、NPO法人の設立には、相談のついでです。

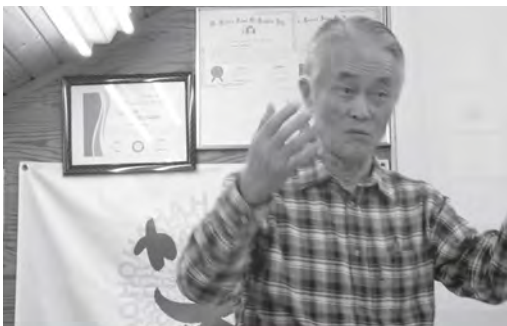
また、ハウス周辺には、住宅がありませんが、ハウス事業に参加はほとんどしません。「やりたがり屋」が県内周辺から集まっています。

説明者は、「よそ者、若者

〇〇者」がエネルギーを出した。集める手段は、コミミ、独自のビラ、地方紙に載せる、ポスター、電話等である。インターネットV等はどれほど効果があったかわからないとのことでした。

毎月、「委員会別の交流会」や緻密な理事会などでよくコミュニケーションをとっています。

今後は、日常的に活動している人には賃金を支払いたい、スタッフやリーダーを育成したい。とにかく、事業に参加してもらうことが重要で、とのことでした。（根岸）



熱い想いを語る理事長



活動拠点であるコムハウスにて

視察研修を終えて

〈総務産業委員会〉

理事長の私費で建設された龍ヶ崎市のコムハウスを視察。様々な高齢者支援を実践しているNPO法人。地域の福祉事業運営の参考になった。（石井徹）

私費を投じてコミュニケーションハウスを作ったパワーに感服。人を活かしての住民自らの取り組みは、参考にすべきものがたくさんあった。（野田）

やりたがり屋が集まるコミュニケーションハウスの活動は、我が町の町内会の参考になった。（松浪）

民間団体が主導する数多くの地域活動に圧巻された中でもユニークな笑いヨガに興味を覚えた。（森）

高齢化社会に向けた地域重視の活動は、注目すべきである。（日坂）

常任委員会レポート

福祉文教委員会

すべての子どもが英語を話せる町 茨城県境町

令和元年11月7日、所管事務の視察研修を実施しました。

調査事項

①子育て支援について

茨城県境町へ、子育て支援について視察研修に行きました。

人口2万4098人という町でありながら、20歳までの医療費助成、第3子以降に出生奨励金最大50万円、育児用品の購入助成最大3万円支給などすばらしい施策がたくさんありました。

スピード感とアカウンタビリティ（説明責任）をもとに、橋本町長を中心に政策立案、施策されていることがわかりました。

その中でも力を入れている「全ての子どもが英語を話せる町へ」をスロー

ガンにしているスーパーグローバルスクール事業について報告します。

この事業に係る費用は、町が全額負担します。家庭の財力を問わず、子どもが英語力を身につけられるよう、英検受験料金も町が負担します。

町内全小・中学校にフィリピン人英語講師17人を招聘し、給食も一緒に食べるなど、9年間を通して実用的英語力を身につけ、グローバル社会で活躍できる人材を育成しています。

フィリピンのマリキナ市と姉妹都市、ハワイのホノルル市と友好都市、アルゼンチンと80年以上に続く交流があります。

今後の取り組みとして、小学生のアルゼンチン派遣事業で海外体験、中学生をニュージーランドなどにホームステイ、小学生・中学生ともに友好都市

ホノルルにホームステイ、短期留学等、子どもたちを海外派遣していくということ。今年も国際友好交流として、小学生10人がアルゼンチンに派遣されました。スーパーグローバル事業の財源は、100パーセントふるさと納税ということでした。

熱く、きめ細かく語っていただき、受ける私たちも真剣に聞き入っていました。有意義で触発される視察研修でした。（中山）



5年間の実績と成果を語る橋本町長

庄倒され聞き入ってしまう議員たち



ふるさと納税を利用して建てたレストラン「茶蔵」。ここで境町職員と一緒にランチ

〈福祉文教委員会〉

境町職員による出迎え、研修での説明等、我々に訴えるものを感じた。その姿勢が境町の勢いそのものであると思われる研修であった。（小川）

ふるさと納税の額と返礼品の多さに驚いた。また、卒業時には英語を話せるようになるまで教えるという小中学校での英語教育の熱心さにも驚かされた。（小鷹）

境町の子育て支援は、企業誘致や、ふるさと納税、住宅支援など包括的な施策と連携して実施している。鳩山町も魅力ある町づくりを進めたい。（大賀）

境町の町長と職員が一丸となり、政策スピードと住民への説明責任を積極的に推進している。これに強く共感し、同じスタンスで自分も進みたい。（関根）

議会クイズ

- 正解者の中から抽選で、お二人に**町の特産品**を差し上げます。
- クイズの正解と当選者の発表は、次号の議会だよりに掲載します。

146号の当選者お二人
おめでとうございます！
○ 楓ヶ丘 柳川寿々枝様
○ 石 坂田島真知子様

★前号の答え

① イ ② ハ ③ イ
ぜひ奮って応募ください。お待ちしております。

(応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号」を記入してください。
議会に対してのご意見・ご感想などもお聞かせください。

(あて先)

〒350-0392
鳩山町大豆戸184-16
議会事務局クイズ係

(締切)2月19日(水)
(当)日消印まで有効

問題1
町管路線バスは高坂駅からどこまで延伸したのですか。

- ① 坂戸駅
- ② 越生駅
- ③ 東松山駅

問題2

議会改革の視察研修先はどこでしょうか。

- ① 三芳町
- ② 所沢市
- ③ 取手市

問題3

境町の町長は

- ① 橋本町長
- ② 山本町長
- ③ 松本町長

ご意見・ご感想をいただきました

〈傍聴アンケートから〉

- (年代、傍聴回数、議会だよりを讀んでいるか)
初めて議会傍聴に来ました。想定していたよりも意外に静かな議事進行だな、と感じました。(70代以上、初めて)
- 音声配信(速報版)の配信期間を延長してほしい。配信されない期間があったと思います。(50代以上、初めて、讀んだことはない)
- ☆ 審議内容の確認により遅れたことがありましたが、現在は正常に配信されています。
- 議員の質問に対し、具体的な回答があり、町職員の方の努力がうかがえた。しかし、予算超過に対する対応は甘い。(70代以上、6回以上、毎回讀んでいる)
- 防災対策に関し、自主防災のウエイトは高いと思われ、検討中の規約について一緒に考えていけたら良いと思います(町内会でも自主防災について考え中)。(同右)
- 児童虐待について児童相談所の体制が弱いと思われるが、より早く状況を把握するために、町内会等との連携を考えてみてはどうか。(同右)

12月議会傍聴者数 19人

編集後記

大きく紙面を変えました。議会の情報をきちんとお届けできるよう、今後も工夫・研究して参ります。

これまで議会改革の思いの強さや方向性が、各議員それぞれでした。取手市議会の視察研修を受け、「チーム鳩山町議会」のスタートラインに立たせたいと思います。

議員力をアップする努力と共に、何よりも住民の皆さんと対話し、一緒にまちづくりを考えることが議会を、町を、元気にする必須条件です。

今後、報告会や懇談会、意見交換会など具体的に検討していきます。

皆様から愛される鳩山町議会となるよう、努力を続けて参ります。(野田)

第147号編集委員

- 委員長 大賀 広史
- 委員 野田 小百合
- 委員 松浪 健一郎
- 委員 小鷹 房義
- 委員 中山 清美
- 委員 関根 隆

表紙の写真

11月30日、第13回鳩山町子育てフェスティバルが、鳩山幼稚園でにぎやかに開催されました。子どもたちの想いを乗せたお手紙風船が、空高く舞い上がりました。

次回3月定例会は3月22日(水)から開催予定です

- 請願・陳情は2月19日17時まで提出してください。
- 議会ホームページから音声配信をしています。
- 音声配信速報版は翌日(休日を除く)から配信されます。

QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます

